

会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第4回会議
開催日時	令和元年9月12日(木) 13:30~15:25
開催場所	役場2階 議場
出席者	別紙のとおり
議 題	1 町民説明会の開催報告 2 防災拠点機能について 3 コミュニティ機能：賑わいの創出
配布資料	資料1 町民説明会の開催報告、防災拠点機能について 資料2 コミュニティ機能：賑わいの創出
会議録の作成方針	要点記録

審議内容	1 町民説明会の開催報告 2 防災拠点機能について 3 コミュニティ機能：賑わいの創出
1 町民説明会の開催報告	
基本構想時点では方向性が決まっていなかった、①葬儀場を整備しないこと、②商工会を複合庁舎に含めること、③議場は会議室と併用することについて町民説明会の全会場で説明し、概ね了解を得たことを報告した。また、災害が増えている危機感から防災に関する関心が高かったこと、これまでの検討組織での検討経過、主な質問とその回答について報告を行った。	
2 防災拠点機能について	
新庁舎の在り方としては、災害発生時の防災拠点、一時的な避難所と考えており、長期間の避難が必要な場合の受け入れは、指定避難所となっている愛ホールと考えていること、また、防災拠点として大規模地震に耐えられる強靱な建物とし、機能維持のために非常用発電設備、貯水タンク、汚水貯留槽の設置を検討することを説明した。	
3 コミュニティ機能：賑わいの創出	
検討委員会、準備作業チームでのワークショップで出されたアイデアを基に、準備作業チームでまとめた賑わいの必要性、定義、抱えている行政課題と、それを解決するためのツールについて説明した。	
【質 疑】	
■町民説明会の周知方法は、チラシ、自治会長あての文書だけでは周知が足りない。	
→ 農繁期を見極めながら日程を調整してきたため時間がなく、新聞折り込みチラシ、自治会長あて案内にとどまったが、次回の説明会では自治会回覧、チラシ、自治会長への案内、HPなどにより広く周知する。	
■町民としては、役場の建替えにかかる費用や何を作るのかにしか関心はないが、説明会はまた開催するのか。	
→ 次の説明会は、これから策定する基本計画の説明が主な内容で、12月か1月を予定している。	
■文章だけでは中身が見えてこないのでは、意見が出てこないと思う。設計に入らないと難しいとは思いますが、図面がないと分からない。	

→ 図面ができるのは基本設計からになり、それを提示できるのは来年になる。なお、基本計画、基本設計、実施設計の工程ごとに説明会は開催する予定である。

■ 3回の検討委員会でそれぞれの思いを出し合ったが、決定されたものがないため進捗状況が説明できない。

→ 今は項目ごとに、順を追って協議を進めているところであり、次回の検討委員会では、それらをまとめた基本計画の素案を提示する。

■ 文字では伝わらないのでビジュアルを作る必要がある。必要なゾーニングを作るのは今ではないのか。

→ 基本計画の段階では図面を作ることはできない。基本設計で初めて業者に発注するので、そこから検討委員会の意見を取り入れながら図面を作成する。

■ 非常用発電機は72時間稼働するとしているが、冬でもそれで大丈夫なのか。

→ 暖房は電気だけに頼らずに灯油等との併用も検討する。また、72時間は備蓄の燃料で稼働する時間であり、燃料供給により稼働時間は延長できる。

■ 非常用発電機は役場庁舎全体に電気を供給するのか。

→ 必要な場所に限定し、30%程度供給することを検討している。

■ 役場庁舎だけではない施設ができることにわくわく感がある。他にもこんな庁舎はあるのか。

→ 全国的にはある。今回の提案は行政課題を解決するための方法の一つであって、今回の説明内容にこだわらず、他にもアイデアがあれば盛り込んでいく。

■ 賑わいの創出の有効事例としたフィットネスとコインランドリーの提案説明会は、役場から頼んできてもらったのか。

→ 新庁舎建設とは別の部署に話があり、他町でのリノベーションの成功例を聞いて関心を持ったところ、本町に合わせた提案をしてくれることとなった。

【意見】

■ 文化団体、体育団体の集まりでも、公民館を壊した後の葬儀場は愛ホールにしたいとの説明があり、賛成の意見が多かった。

■ コインランドリーはいいと思う。乾燥機やスニーカーが洗える洗濯機があると利用につながり、高齢者のための宅配サービスもあれば便利だと思う。

■ 町内施設と新庁舎の賑わいの創出施設との連動が必要で、魅力的なものを作り、町外から人を呼び込み、商売として経済が成り立つことが必要だと思う。